

20年後、30年後を生きる子どもたち

正解のない世の中を生き抜く力

協働して作り出す力 ⇔ AI

持続可能な社会を生み出す力

地域・保護者の願い

ふるさとに根っこをもつ子ども

学力の定着・活力のある姿

人間力・生活力を大切にする学校

本校のめざす  
学校像

わくわく

にこにこ

きらきら

教育目標

いきいき学ぶ みんな輝く 未来へ進む 東栄小

校訓「ちえ輝く子、やさしさ輝く子、げんき輝く子」の育成に向けた教育を行う。

令和4年度めざす子どもの姿

ともに成し遂げた経験を持ち、考え、伝え合い、行動する子ども

学級における具体的な子どもの姿

考えをもち、伝える子

人(自分も)を大切にす  
る子

チャレンジする子

東栄町で育ったことを強  
みにできる子

級訓

かっこいい げんきな いちねんせい

指導・支援の内容

○授業で

・みんなで考える必要感のある課題を設定し、話し合って答えや成果を出した経験を積む。

・個人で考える時間を確保する。

・考えの伝え合いに慣れるよう、少人数での話し合いの場を設定する。

・話す、聞くのルールを徹底する。

○生活の中で

・自分の考えが取り上げられた経験を積む。

○朝読書の時間で

・自分の気に入った本を発表する機会をつくる。

○学級で

・思いやりのある行いはクラスみんなに知らせ認めることで、思いやりの連鎖がおこるようにする。

・想像力を働かせ、相手がどう思うか、自分だったらどうするかを考える習慣をつける。

・よいところ、頑張っているところを認める場を設け、スモールステップで認める言葉がけをし、自己肯定感を高める。

○学級づくりで

・「分からないこと、できないことがあるから学校に来ている」

「学校は間違えていいところ」という考えを浸透させ、チャレンジしようと思える雰囲気をつくる。

・間違いは役に立つ「ナイスエラー」の考えを広め、失敗を恐れずチャレンジしようとする雰囲気をつくる。

○学級で

・チャレンジした行為を大いに認め、みんなに広げる言葉がけをする。

○地域学習で

・地域に出て、自然や季節の移り変わりを感じたり、地域を支える人と関わったりする中で、感受性を育み、地域の魅力を知る。

○学校生活で

・縦割り班活動や他学年との交流活動で、異年齢との関わり方や助け合いのよさを感じる。

・少人数を生かし、自分と考えの違う人と深く関わる経験を通し、多様な価値観を受け入れる土壌をつくる。